



神戸市副議長 坊 やすなが

坊 やすなが プロフィール【略歴】
昭和42年北区八多町生まれ 八多保育園卒
地元幼、小、中、県立神戸北高校を卒業
平成元年 佛教学部文学部卒業
同年 衆議院議員 砂田重民 秘書
平成11年 自民党兵庫県連 青年部長
平成12年 衆議院議員 公設第一秘書
平成15年 神戸市議員に初当選(現4期)
市会常任委員長、特別委員長等を経て
平成24年 自由民主党神戸市議員団 幹事長
平成25年 神戸市監査委員 議選委員
自民党政令指定都市青年議員連盟 会長
平成27年 市会運営委員会 委員長
現在 神戸市会 副議長

皆様こんにちは。日頃より神戸市議員 坊 やすなが 並びに自由民主党神戸市議員団 対しましてご理解、ご協力下さり心から感謝申し上げます。

私は、昨年6月13日に開かれた市会本会議に於きまして第110代神戸市会副議長に選出されました。市会運営の重責を担わせて頂きながら、同時に皆様にお約束いたしております各施策について実現させるべく日々努力を重ねております。

2月17日から3月28日までの予算市会では、久元市長4回目の予算市会ということもあり、医療・福祉への充実はもちろんの事、未来を担う若者の定住・移住の促進のため、若い世代が安心して子育てができるように、潜在的待機児童の解消、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援や子育て世帯の経済的負担を軽減するなど力を入れております。

特に池田議長と共同で市長への要望の結果、本年4月より北神出張所が支所として機能充実しました。そして、北農業振興センターの拡充・新設、また長年取り組んで参りました「道の駅」オープン、神戸電鉄高齢者割引制度の継続など、大変嬉しく思っております。その他、私が要望し予算に計上された内容の一部をご報告致します。

今後共にお約束いたしました施策の実現に向け更に精進を重ねて参る所存です。最後になりましたが、貴家皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

合 掌

～心から感謝を込めて～ 神戸市会 副議長 坊 恭寿

「神戸フルーツ・フラワーパーク大沢」道の駅 平成29年3月30日にオープン!

平成29年3月30日(木)に道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢(おおぞう)がオープン致します。「道の駅」については、9年越しの要望で実現致しました。今回の道の駅は、日本で初めて地域の商店や企業が出資し、まちづくり会社をつくり その会社が、今回「国土交通省による「重点道の駅」競争の中で選ばれ、地域の方が地域の財産として運営していく道の駅になることは、当初から考えてきた全国初となる「民設民営 道の駅」を実現することができました。

農産物直売所、物販・飲食スペース、情報発信機能を備えた施設「FARM CIRCUS (ファームサーカス)」



北区の皆様限定

内覧会のご案内
3/26(日) 10:00~18:00
GRAND OPEN 3/30(木) 10:00~

地産地消を遊ぶ施設「FARM CIRCUS」が誕生!
道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢 オープン



- FARM CIRCUS MARKET**
「神戸のいいものが集まるマーケット」をコンセプトに神戸の良質な品を厳選してお届け。
- FARM CIRCUS CAFE**
こだわりのドリンク、TODAY'S COFFEE、オリジナルの米粉ジェラートなどの販売。
- DAYS KITCHEN**
地元新鮮食材を使用したメニューが魅力のイタリアンレストラン。
- KOLN BAKERY**
神戸で70年の歴史を持つ「ケルン」監修のベーカリー。
- FARM CIRCUS SHOKUDO**
地元農家さんの手で丁寧に育てられたお米など体に優しい定食メニューをご用意。
- FARM CIRCUS YARD**
源泉の足湯がお楽しみいただけ、休憩やお子様の遊び場にぴったりの広場。
- FARM BUS, FARM CIRCUS INFO**
近隣農家を支える取り組みの一環として、農地と繋がるFARM BUSを運行。



神戸市シニア利用促進パス「神鉄シーパスワン」継続実施に!!

西北神地域における市民の交通手段を確保するため、シニア層を対象とした企画乗車券(神鉄シーパスワンとプラス)が、継続実施となりました。

1枚 3,500円 神戸電鉄全線 1日乗車券 10日分有効

1枚 5,700円 神戸電鉄全線 神戸高速全線 1日乗車券 10日分有効

強い要望により継続されます!!

鈴蘭台駅周辺 再開発整備

現在整備中の鈴蘭台駅前再開発ビルは、7階建の建物に北区役所、駅コンコース、商業施設、立体駐車場の機能を有するターミナルビルとして、平成30年夏頃のビル完成、平成32年3月の事業完了を目指して、工事が進んでおります。

神戸市北区の玄関口、地域の新しいランドマークとして、そして皆さまに長く愛される施設として「ベルスト」と名称が決定しました。

Bellst(ベルスト) ※一般公募、最優秀賞にて決まりました。(鈴蘭台北町在住の方) 鈴蘭台の鈴(bell)に station(駅)・start(出発)の"st"を組み合わせた造語



29年度から鈴蘭台幹線の整備が始まります!



有馬温泉 新泉源の掘削・設置

有馬温泉において泉源の維持管理と温泉の安定供給が本命題だと、当局に対し要望活動を続けて参りました。

この度、調査により有馬温泉内に、温泉がわき出る可能性の極めて高い泉脈が見つかったり、新しい泉源を確保するということで29年度より新泉源の掘削を行います。

「かんぼの宿有馬」の西隣 関西電力健康保険組合の保養所跡地です。

3年間の要望活動の結果、実現しました!

お問い合わせ・あらゆるご相談は 神戸市議員 坊 やすなが まで

神戸市長が台湾にてブロガー等個人向け観光プロモーション・トップセールスを実現!

「台北・共同」神戸市は、市の魅力を発信してもらおうと台湾の著名ブロガーらを対象にした観光プロモーションを台北市内のレストランで開催、久元喜造神戸市長自ら特産品を売り込んだ。

台湾では、日本の自治体による旅行会社など法人を対象にしたプロモーションは多いが、観光客誘致のための個人向けの企画は珍しい。

久元市長は「神戸ヒーロー」

「フは有名だが、おいしいシーフードもたくさんある」とあいさつ。観光客の食料、日本酒を紹介した後、参加した約40人に実際に神戸牛や野菜、スイーツなどを食べてもらった。美食家ブロガーとして知られる徐天麟さん(50)は「台湾人は日本人の個人旅行が多いので、今回のPRは効果があると思う」と話した。料理などの感想を自分のブログで発信するという。

平成28年12月23日 毎日新聞



兵庫に宿泊 台湾が最多

スィーツや町歩き お目当て?

15年、中韓の訪日客抑え

国内で宿泊した外国人(国籍別)の割合

国籍	割合
中国	29%
韓国	23%
台湾	16%
米国	10%
その他	2%

台湾、中国をはじめ、大勢の外国人観光客が兵庫交差点自衛隊宿舎(1日、神戸市北区有馬町(塚原・大山の一部))に宿泊している。

「TNN旅報」台湾観光雑誌等にも掲載され着実に訪日増加へ!

平成29年2月20日 神戸新聞

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
E-mail bo.yasunaga@gmail.com

地域コミュニティバス・タクシー支援事業

- 八多町コミュニティバスの本格運行を支援
- コミュニティバスの試験運行など、地域の主体的な取組みを支援

地域主体で新たな移動手段の確保に取り組む地域等に対する勉強会への専門家派遣、アンケート調査、試験運行補助等による支援が大幅に予算に計上されました。



公共交通の社会実験

地域の足より便利に

農村地域が広がる、鉄道の駅がなく、高齢化が進む北八多町。病院や買物、公共施設に行くための移動手段の確保が、かねてからの課題だ。

人口約3千人で、南北に細長い八多町では、神姫バスと協力し、昨年10・12月に実施した前回同様、小型バス(定員34人)を利用した社会実験を実施。前回は町南部と神鉄岡崎駅を結ぶ1系統のみだったが、今回は、児童の登校や神鉄道場南口駅との接続など、要望を踏まえて南北の路線を増設した。三宮行

小型バス 八多町 南北路線拡充
乗り合い タクシー 大沢町 停留所を新設

八多町の小型バス車両を使ったコミュニティバスを使う小学生ら=2015年10月、いずれも神戸市提供

平成28年8月30日 神戸新聞 (平成28年度の社会実験開始前日の記事)

児童生徒への市バス通学費援助の拡充

- 市バス普通区の料金の1/2を超える額を追加支給
- 我が会派の要望により平成27年度に始まった児童生徒通学費への補助制度は、自宅から小学校2km、中学校3km以上離れている場合、通学のための通学定期券代が市から1/2補助されていましたが、平成29年度より、距離要件撤廃され、市バス均一区間(普通区)の料金の1/2を終える額は全額補助されます。



(例) 八多小学校に通学、学期定期券(290円区間)を使用されている場合

	学期定期券代	補助額	ご家庭の負担額
28年度	49,420円	- 24,710円	= 24,710円
29年度	49,420円	- 35,400円	= 14,020円

(注) 補助額は、(拡充)と(負担額軽減)の合計額です。

長尾小学校校区から大沢小・中学校への通学が可能へ!

北神地域の中でも、大沢町のような農村地域などでは人口の減少が進み、小中学校の児童生徒が少なくなって、学年によっては2つの学年で1クラスを編成する複式学級となっています。

一方で、長尾小学校校区にある上津台では、宅地開発により若い世代の人口が急増しています。長尾小学校では教室数が不足してきたため仮設校舎を増築しましたが、児童数は今後も増えていく見込みです。

こうした現状を踏まえ、大沢町・上津台の両地域から要望が出されたこともあり、長尾小学校校区(赤松台、上津台、長尾町)在住の児童生徒については、希望に応じて平成29年度より大沢小学校・大沢中学校へ就学できるようになりました。

大沢児童館では、これまで、「ランドセル来館」(学校終了後、帰宅せずに児童館に来館することができる)を、放課後から午後5時まで実施しています。

平成29年4月からは、これに加えて、大沢児童館で「放課後児童クラブ」(学童保育)が開設されます。

保護者が働いているなど、放課後大人の家族が家にいない小学生のために開設されているもので、延長利用希望を出せば、午後7時まで利用することができます。



北神出張所の支所化へ!!

副議長就任前より北神出張所の機能充実を要望をして参りました。

就任後 池田りんたろう議長と共同で当局に対し強く要望し、考えを同じくする久元市長の英断により平成29年4月より北区役所 北神支所としてスタートします。

池田議長、坊副議長による市長への再三の要望により実現しました!



神戸開港150年

神戸港は、「務古水門」「大輪田の泊」と呼ばれ古くから中国大陸や朝鮮半島と交流していました。室町、江戸時代には、「兵庫の津」。そして、1868年の開港後は、人・物・情報が行き交う拠点として、また、国際貿易港として常に最新の設備を整備し、世界を代表する港に発展しました。

しかし、平成7年(1995年)1月の阪神・淡路大震災により大きな被害を受けましたが、わずか2年間で施設復旧を完了した。その後、コンテナ取扱個数が低迷するものの、昨年神戸港のコンテナ取扱個数が横浜港を抜き、東京港に次いで国内2位に、神戸港のコンテナ取扱個数は約254万TEUと、前年比3%増と阪神・淡路大震災前の1994年の水準まで戻っております。

また、神戸港に入港する外国客船は、2015年3月に神戸ポートターミナル(同市中央区)がリニューアルし、世界最大級の客船が受け入れ可能になり増加。2013年19隻、2014年に32隻、2015年は過去最高の42隻、2016年32隻と前年を下回ったが、本年は50隻の大会を超える見込みです。



五大港のコンテナ取扱個数(H28)

1位	東京湾	430万TEU
2位	神戸港	254万TEU
3位	横浜港	253万TEU
4位	名古屋港	241万TEU
5位	大阪港	202万TEU

長尾小学校内 学童保育コーナーの移転(使用時間外は公民館的な機能も)

現在、長尾小学校内の長尾学童保育コーナーの平成28年度の登録児童数は、134人です。同小学校内に長尾児童館がありますが、小学校から1.6km離れた場所に設置されておりますが、学童保育は実施されていない状態です。

登録児童数の増加は、上津台の宅地造成により小学校の児童数が増加し、それに比例して学童保育の登録児童も増加しました。そのため、もともと校舎内に設置しておりました学童保育コーナーだけでは足りなくなり、新たに平成27年7月より仮設校舎内に第二学童保育コーナーを設置しましたが、1~3年生までの受入れにとどまり、高学年の受入れができていない状況です。

学校外での学童保育の実施場所の確保について、高学年を含む学童保育を希望する全ての児童に対応できるよう、建設局と協議し、平成29年度に長尾小学校に隣接している菅生公園内に学童保育として利用可能な施設を整備することになりました。今後まちづくりの視点から、自治会館としての機能を持たせるため、要望し実現しました。

移転時期
平成30年1月(予定)

移転場所
菅生公園(長尾小学校隣)

建物の概要
2階建て軽量鉄骨造
延床面積300㎡

強い要望により実現します!

受付窓口体制・案内業務の強化

- 簡易手続き窓口の新設による待ち時間の解消

まちづくり機能の強化

- 地域課題解決等の地域のまちづくり支援体制の充実
- 地域活動交流コーナーの新設

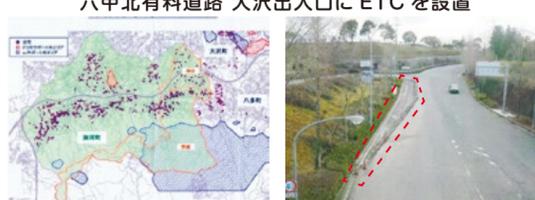
総務部門の強化

- 支所化に伴う庶務事務、選挙事務等の体制確保

保健福祉部門の強化

- 支所化に伴い移管される保健福祉課の事務体制確保

区民要望を実現!



- 大沢西宮線(上小名田交差点)改良
- 神戸三田線(日下部交差点)改良
- 五社交差点(有野大橋交差点)改良
- 国道428号「青葉台口」歩道拡幅



市組織改革 北神出張所を支所に 未来都市推進課を新設

神戸市は16日、2017年度の組織改正を発表した。庁内外の調整も重要な事業に課を新設し、担当課長や担当係長を置いた。農業振興センター(北八多町)を北農業振興センターとして体制を強化する。また、先機関の充実を図った。

企画調整局には、政策立案や調整を行う未来都市推進課を新設し、市長室には国際交流推進課を新設し、市長室に国際交流推進課を置く。ラグビーワールドカップ開催に向け、教育委員会事務局に事業推進担当課長を置く。

保健部門では、歯科口腔保健施策を推進するため口腔保健支援センターを設置する。学校教育部門では、学校のさまざまな事務の窓口を集約することで教員の負担軽減を図る。学校経営支援課を新設する。

先機関は、農業振興センター(西区伊川谷町)を西センターと北センターに再編する。また、北区役所北出張所(北区藤原台)の人員を増強して北支所に格上げする。

今回の組織改正で課が2減り、課長ポストは12減、係長ポストは10増える。(森本尚樹)

平成29年2月17日 神戸新聞

北農業振興センター拡充新設!

北農業振興センターで強化する主な業務

- 生産振興: FFP 実証事業を生産者へ導入、道の駅直売所に伴う拡大
- 里づくり・里山暮らしの取組強化
- 有害鳥獣対策の強化: 猟友会神戸北支部及び有馬支部との連携強化
- 就農・営農相談窓口の実施
- 農委の諸証明・届出の受付交付

西センターとの統合から一転北農業振興センターを拡充・新設を実現させる事が出来ました!



市街化調整区域指導課

- 土地・建物利用の推進の観点から、農村地域を含めた市街化調整区域の開発許可等事務の一部を建設局防災部宅地開発指導課から移管

強い農業の実現に向け着実に進行中!

食を軸とした複合的な都市戦略「食都神戸2020」の推進

- ファーマーズマーケットの開催拡充
- 食の世界機関のネットワークを活かした情報発信
- 神戸産農水産物等の海外展開の促進

神戸・里山暮らしの推進

- 農村定住促進コーディネーターの拡充(相談機能の強化)
- 農村定住起業計画の策定支援
- 空家等を活用した里づくりの拠点施設の改修支援
- 農村地域の魅力発信

地域農業を支える若手農業者の育成

- 新規営農者等を対象とした神戸版営農マニュアルの作成
- 若手農業者グループの経営強化等に向けた活動支援

農村環境の整備

- 農道移管の加速化
- ため池・水路等の水利施設の補修・復旧助成の拡充
- 農業集落排水施設の運営効率化

淡河町のまちづくり

- 歴史的建造物である淡河宿本陣跡の活用
- 定住・移住を促進するための情報発信、イベントの実施
- 茅材を生産する茅場を拡充(淡河環境センター内)

農業の活性化のため着実に実現させます!



継続して支えて参ります!

